



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

クマタカ生態報道への見解は

未来世代へ引き継ぐ 重要な財産と認識

問 (仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の建設予定地付近で観測されたクマタカの生態報道に対する市の見解は。

答 クマタカをはじめとする動植物や自然環境、景観などは、未来世代へ引き継がなければならない重要な財産であると認識しています。本事業は市営放牧場と保安林に計画されていますが、市営放牧場は今後も放牧用途に使用予定であり、保安林は、県ゾーニング案では原則的に事業実施が認められない保全地域に該当します。自然環境等への影響を懸念する声が大い中、事業実施にはハードルが高いと考えますが、環境影響への配慮を含めた事業計画は、まずもって事業者が検討することであると認識しています。

問 建設予定地付近のクマタカの生息数を把握しているか。

答 活動域であることは把握していますが、生息数は把握していません。

問 全国でも1,800羽余りとされる貴重なクマタカを保護観察できる公園を設けて、観光資源として活用する考えは。

答 惣辺放牧場には既に牧場広場展望台やあずまやがあり、誰でも自由に利用するため、新たな公園の設置は考えていません。

問 令和6年9月に開催予定だった本事業に係る第4回中間報告会は、事業者の事情で開催延期となったようだが、その周知を市ホームページに掲載した理由は。

答 風力発電事業は特に市民の関心が高く、事業者が独自に開催する報告会などの開催情報も依頼により市ホームページや広報に掲載しています。本報告会の開催についても市ホームページ等に掲載していたことから、延期の連絡を受け、速やかにお知らせしたものです。



太 田 正 幸
(立憲農民クラブ)

令和7年度の予算編成方針は

5つのプロジェクトを 重点的に取り組む

問 令和7年度の予算編成方針は。

答 限られた財源の中で、適切かつ効果的な事業実施に必要な予算とすることを基本に、第2次総合計画後期基本計画で掲げた5つの重点プロジェクトについて重点的に取り組む予定です。

問 103万円の壁が撤廃された場合の影響額は。

答 個人住民税の減収額は10億円程度で、令和5年度の市税全体の約14%の減収見込みです。

問 ガソリン税を一部軽減するトリガー条項の凍結が解除された場合の歳入への影響額は。

答 約1,200万円減額となる見込みです。

問 通報者が不利益を受けることなく、安心して通報できる環境を整えるため、市独自の公益通報者保護制度を構築する考えは。

答 国の指針等では、内部規程を定め運用することが求められていることを踏まえ、今年度中の整備に向けて取組を進めたいと考えています。

問 脱炭素への取組を明確にし、具体的な行動を促進するため「デコ活」宣言をする考えは。

答 今年度、市全域の温室効果ガスを削減するための十和田市地球温暖化対策実行計画を策定する中で、一緒に検討したいと考えています。

問 今年度の秋まつりの総括会議の内容は。

答 トイレの増設やごみ対策、十和田囃子競演会の再開についてや夜間運行における照明設置についてなど、多岐にわたり議論されました。

問 秋まつりを継承、発展させるため、市の姿勢を条例化するなど、明文化してはどうか。

答 多くの市民が参加できる環境づくりには、市民の主体的な取組を促し、支援することが重要と考えているため、明文化は考えていません。